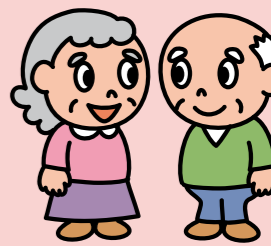


# 運転免許証を自主返納された65歳以上の方に 4月1日より顔写真付きの 住民基本台帳カードを無料交付します



週間ほどかかります。

【カードの有効期限】

カード発行から10年間

【注意事項】

▼「申請による運転免許の取消通知書」に市役所の受付印を押印させていただきますので、ご了承ください。

▼申請期限は、運転免許証を自主返納された日から6か月以内です。

▼住民基本台帳カードの無料交付は、一人一回限りです。

▼代理人による申請も可能ですが、手続きに日数を要します。詳しくは三好市市民課にお問い合わせください。

▼平成24年7月の住民基本台帳法の一部改正により、他町村に住所を移した場合でも、引き続き住民基本台帳カードが使用できるようになります。

【申請場所】

・三好市市民課  
・各総合支所

※ただし、住民基本台帳カードの交付は本庁市民課のみとなります。

お問い合わせ先

三好市市民課  
電話 72・7609

## 無料交付の対象となる方

次のすべての条件を満たしている方。

- ①三好市に住民登録されている方（住民基本台帳に登録されている方）
- ②平成24年4月1日以降に、すべての運転免許証を有効期限内に自主返納された方（平成24年3月31日以前に自主返納された方は対象となりません）
- ③自主返納された日において65歳以上である方

※運転免許証の自主返納とは、運転免許証の有効期限内に、取得している免許の全部を自主的に返納することをいいます。有効期限終了による運転免許証の返納は該当しません。

## 交付の手続き

### 【必要書類】

- ①顔写真1枚（縦4・5cm×横

3・5cm、正面向き・無帽・無背景で6か月以内に撮影された写真）

### ②印鑑

③申請による運転免許の取消通知書（運転免許証を自主返納された際に交付されます）または運転経歴証明書

④本人確認書類（ア、イのいずれか）

（ア）パスポート、身体障害者手帳などの官公署が発行した写真付きの証明書

（イ）取消となった運転免許証と、健康保険証・介護保険証・年金証書などからもう1点

※（ア）の証明書をお持ちでない方は、運転免許証を自主返納された際に、取消となった運転免許証を受け取ってください。

### 【交付】

カードは後日交付となります。申請からカード交付まで2



## 木箱コンポスト（生ごみ処理器）のモニター実験の結果について

お問い合わせ先 三好市環境課（電話 72-3436）

市報9月号で募集しました「木箱コンポスト（生ごみ処理器）」の実証実験では、29人の市民のご協力が得られました。2か月間使用していただいた時点で、88%の方が順調であり、84%の方が今後も続けて使いたいと回答されています。

今回の実験では「生ごみ分解能力は気温に大きく左右されること」、「生ごみを細かくしたり、土とよくかき混ぜる作業が必要なこと」、「今回のコンポストの大きさが1日当たり500gの生ごみ処理が十分可能なこと（最大値は2か月で約50kg）」、「もう少し大きいと使いやすかったこと」などがわかってきました。（詳しい内容は環境課までお問い合わせください）

今後も市民の皆さんのご協力を得ながら、木箱のコンポストに加え、新しい方法（地中埋設型コンポスト）の実験を行い、生ごみの自己処理の推進とごみの減量をさらに進めていきたいと考えています。

また、この「木箱コンポスト」の製作には間伐材を使用し、林業施策にも役立っております。



モニターの川木さんご夫妻  
（池田町在住）

昨年1月に神奈川県川崎市から、定年後は野菜作りや溪流釣りをして過ごしたいというご主人の希望もあり、奥様の生まれ育った三好市に移り生活されています。周りの農家の方に畑仕事を教わったり、市内の温泉に出かけたりと、とても充実した生活をされています。「このコンポストを使うようになって、資源ごみの分別はもろろん、なるべくゴミが出ないような生活を心がけるようになりました」、「環境に対する意識がかわってきましたよ。資源の無い日本、美しい自然のある三好市だからリサイクルは頑張らない」と明るい笑顔で話してくれました。

## 三好市の特産品をインターネットでお買い求めいただけます



三好やまびこふるさと会のホームページがリニューアルオープンしました！

ホームページでは、「みそ」や「醤油」、「祖谷そば」など地元産品を気軽にインターネットでお買い求めいただけるほか、生産者のインタビューや「三好の逸品」を購入できる店舗、地域の情報などを紹介しています。ぜひ、三好市の特産品をご賞味ください。

詳しくは、

三好やまびこふるさと会

(URL <http://www.miyoshi-yamabiko.jp/>)

または **三好の逸品** で検索

お問い合わせ先

三好市商工政策課内 三好やまびこふるさと会（電話 72-7645）



モバイルサイトはこちらからアクセス





# 連載 地域おこし協力隊

## 活動報告

⑧

### 春に向かって始動準備

渡邊 聡

夏の暑い時期に三好市にやってきて、あっという間に今、雪の三好市を経験しています。夏から秋、秋から冬の素晴らしい自然を堪能しているって言う方が正解です。春はまだですが、四季の遷り変わりをこれほど見事に経験したのは久しぶりの事です。特に、山の遷り変わりに限定すれば初



めての素晴らしい経験です。本当に「山が綺麗」って感じます。自身は祖谷のイベント参加と山城の生産者さんのお手伝いをメインに活動しています。その関係上、事務所のある井川支所から週に何度かそちらに出向くのですが、運転しているも全然苦になりません。むしろ、楽しいと感じています。たまに、季節の野菜や加工品とかをもらうんですが、これがすこぶる美味！雪道の運転にも慣れ、自然の美しさや美味しさを満喫しながら仕事をしています。これから春に向けては、生産者との仕事がメインになっていきます。当初からの目的であった特産品の開発と販売の初端についたところで、本格的に開始するのは行楽シーズンくらいです。山の息吹とともに、活動を開始していきます。

### 地域への愛着の深まり

下川 徹

協力隊として活動を始めてから早くも半年が過ぎ、最近では、三好市の活動団体の皆様からの講演にお招き頂き、勉強させて頂いております。

男女共同参画社会シンポジウムでは、市街地活性化への取り組みを紹介した映像を、池田地区婦人会、三好華の会では、来訪者の視点で三好市の様々な魅力をお話しさせて頂きました。その度に、まだ自分も知らない三好市の魅力を教えて頂いたり、このような機会でなければお会いできない方々から、貴重なご意見をうかがったりと、学ぶことがたくさんありました。映像を介して、相互に意見を交換することができるすばらしさを、改めて感じる事ができ、講演の度に、自分自身も、地域への愛着が深まっていくのを感じ



# 交流拠点 Q & A

## ～普段市民の皆様からいただくご質問にお答えします～

お問い合わせ先 三好市企画調整課文化交流推進室 (電話 72-7633)

**Q** 「交流拠点施設を整備する」とは、どういうことなのでしょうか？

**A** 単に施設(建物)の整備を行うのではなく、文化の振興を図り、交流の促進を持って施設を活用し事業を展開しようというものです。活発な文化活動は、市民の生活を豊かにし、活性化します。文化を核とした活動の展開を通じて、さまざまな交流を生み出すと共に、市民の皆様方が生き活きと輝くことよって、三好市の活性化を図ろうとするものです。

**Q** 「交流拠点施設」の規模と場所にについてはどのように考えられていますか？

**A** 整備候補地は、三好市池田総合体育館に隣接する「船井電機池田工場跡地」を予定しています。中心市街地に近く、総合体育館との連携が期待できるこの候補地は、約16000㎡の広さがあります。計画しています施設の規模は、600席程度の多目的なホールを持つ、5000㎡程度の文化交流施設を考えています。

**Q** 交流拠点施設では、どのような事業を計画されていますか？

**A** 次の7つの事業の展開を考えると、①人々が集い地域や教育機関、福祉施設と連携する交流連携事業、②人材の育成と文化を継承する育成事業、③優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供する鑑賞事業、④文化芸術にふれるきっかけづくりとして普及事業、⑤文化芸術作品の創造を支援する創造事業、⑥文化芸術活動の情報を収集・発信する情報事業、⑦市民の文化芸術活動のための諸室提供や会議やイベント誘致のための貸館事業としての施設提供事業、について実施します。

**Q** 交流拠点施設は必要ですか？

**A** 市民が文化芸術活動を行ううえで、市内の既存施設では規模や機能(設備)に限界があり、活動の機会提供などのソフト事業を含めて、文化活動への環境が未整備な状況です。活発な文化活動は人々の生活を豊かにします。交流拠点施設整備は、こうした視野視点に立ち、市民ひとり一人の個性や感性を大切に文化の見えるまちづくりとして、すすめていきたいと考えています。

【事業の展開と施設の機能イメージ】

